

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	技術英語講読	
科目基礎情報							
科目番号		0002		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		電子・情報システム工学専攻		対象学年		専1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		プリント配布					
担当教員		香取 重尊					
到達目標							
1.工業英語論文を読みその技術内容を纏めて報告できる力を養成する。 2.現在進めている研究内容を工業英語論文としてまとめる力を養う。 3.英語で発表を行うことにより、コミュニケーション力向上を図る。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、簡潔に纏めて報告できる。		工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、的確に纏めて報告できる。		工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、纏めて報告できる。		工業英語論文の読解力が不十分で内容を説明できない。
評価項目2	自分の研究内容を工業英語論文として簡潔にまとめる力を有している。		自分の研究内容を工業英語論文としてまとめる力を有している。		自分の研究内容を的確な英文でまとめることができる。		自分の研究内容を英文でまとめることができない。
評価項目3	自分の研究内容を技術的な単語を用いて正確かつ簡潔に英語で発表することができる。		自分の研究内容を技術的な単語を用いて正確に英語で発表することができる。		自分の研究内容を的確な英語で発表することができる。		自分の研究内容を英語で発表することができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：専門 学習の分野：電気・電子 必修・選択の別：選択 基礎となる学問分野： 専攻科学学習目標との関連：本科目は専攻科学学習目標「(4) 特別研究を自主的、積極的に推進することにより、技術者として必須の問題発見能力と課題解決能力、すなわち創造的な成果を生み出すデザイン能力、研究能力を身につけるとともに、研究結果を学会などで発表し、他の研究者や技術者との交流を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身につける。」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成、F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」であるが、付随的には「B-1」にも関与する。 授業の概要：グローバル化が急速に進展する現代の社会においては、工学系の学生にとって英語の読解力、作文力、会話力は必須の位置づけにある。本講座は技術英語を中心に英語力を身につけるためのもので、工学分野の英語論文、英語解説文を教材として英語力の養成を目指す。						
授業の進め方・方法	授業の方法：前半は基礎工業英語の読解力を養成するとともに基礎構文や文法の修得、基本単語の修得を図る。後半では各人の研究内容を英語論文としてまとめて発表させる。メンバー相互のコミュニケーション力の向上を図る。 成績評価方法：報告書（50％）、発表（50％）						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位当り授業時間として15単位時間開講するが、これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：英字新聞や国際論文に常に目を通し、英語に慣れ親しんでおくこと。 基礎科目：本科 3,4 年で履修した英語Ⅲ、Ⅳ等の英語科目、電気磁気学（電気電子、情報 3,4）、電子工学（電気電子、情報 3） など 受講上のアドバイス：授業の各単位時間の開始時に出欠をとり、その際返事がなくその後入室してきた者は遅刻とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。授業時間外の学習（予習と復習および論文提出）は行わなければならない。研究内容発表のときは短時間で論理的に発表できるように準備しておくこと。発表者以外は発表に対する質問を積極的に行うこと。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	技術英語の基本修得および科学英文の輪読①			工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。	
		3週	技術英語の基本修得および科学英文の輪読②			工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。	
		4週	技術英語の基本修得および科学英文の輪読③			工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。	
		5週	技術英語の基本修得および科学英文の輪読④			工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。	
		6週	技術英語の基本修得および科学英文の輪読⑤			工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。	
		7週	技術英語の基本修得および科学英文の輪読⑥			工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。	

		8週	英語論文の輪読および研究内容の論文化	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。自分の研究内容を英文でまとめることができる。
	2ndQ	9週	英語論文の輪読および研究内容の論文化	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。自分の研究内容を英文でまとめることができる。
		10週	英語論文の輪読および研究内容の論文化	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。自分の研究内容を英文でまとめることができる。
		11週	英語論文の輪読および研究内容の論文化	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。自分の研究内容を英文でまとめることができる。
		12週	英語論文の輪読および研究内容の論文化	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。自分の研究内容を英文でまとめることができる。
		13週	英語による研究内容の発表①	自分の研究内容を英語で発表資料にすることができる。
		14週	英語による研究内容の発表②	自分の研究内容を英語で発表資料にすることができる。
		15週	英語による研究内容の発表③	自分の研究内容を英語で発表資料にすることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表・演習	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	0	50	0	0	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	50	0	0	50	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0